

Sitecore CMS 6.3 およびそれ以降 SQL Server レプリケーション ガイド



目次

| Chapter 1 | SQL Server レプリケーション ガイド | 3 |
|-----------|---|----|
| 1.1 SQI | _ Server のレプリケーション概要 | 4 |
| 1.1.1 | ディストリビューター | 4 |
| 1.1.2 | パブリケーション | 4 |
| 1.1.3 | サブスクリプション | 4 |
| データヘ | ベース バックアップを使用してサブスクリプションを初期化する | 4 |
| ネットワ | ーク共有を用いて、スナップショットを使用してサブスクリプションを初期化する | 5 |
| SQL S | erver Integration Services を使用してサブスクリプションを初期化する | 5 |
| 1.1.4 | Sitecore CMS がサポートするレプリケーション モード | 5 |
| 1.2 SQI | _ Server のレプリケーション構成 | 6 |
| 1.2.1 | ディストリビューターの構成 | 6 |
| 1.2.2 | パブリケーションの構成 | 9 |
| 1.2.3 | サブスクリプションの構成 | 15 |
| 1.2.4 | ポーリング間隔 | 20 |
| 1.2.5 | レプリケーション エージェント プロファイル | 21 |
| 1.3 SQI | _ Server レプリケーションのトラブルシューティング | 22 |
| 1.3.1 | sp_replcmd を実行できない | 22 |
| 1.3.2 | レプリケーションの ID 範囲がフル | 22 |
| 1.3.3 | マージ プロセスでサブスクライバーにスナップショットを配信できなかったことを示すエラー | 23 |



Chapter 1

SQL Server レプリケーション ガイド

この文書は Sitecore で SQL Server のレプリケーションを使用するためのガイダンスを提供します。

この文書の情報は Sitecore CMS 6.3 およびそれ以降のバージョンに適用されます。 SQL Server の レプリケーションは Sitecore 6.3 およびそれ以降のバージョンでサポートされます。

この章には次のセクションがあります:

- SQL Server のレプリケーション概要
- SQL Server のレプリケーション構成
- SQL Server レプリケーションのトラブルシューティング



1.1 SQL Server のレプリケーション概要

SQL Server のレプリケーションを使用して複数の場所にある Sitecore のデータベースを同期することができます。たとえば、 SQL Server のレプリケーションを使用して、複数の CM (コンテンツ マネジメント: コンテンツ管理) 環境間の Master デー タベースを同期することができます。

1.1.1 ディストリビューター

ディストリビューターは SQL Server のレプリケーションを使用したデータの同期を実行し、パブリケーションとサブスクリプション を管理するデータベース サーバーです。SQL Server はディストリビューション データベースを使用してレプリケーションを管 理します。

1.1.2 パブリケーション

パブリケーションは SQL Server のレプリケーションの同期元となるデータベース オブジェクトです。1 つの環境で 1 つのデー タベースをパブリケーション データベースとして選択します。他の環境でこれに対応するデータベースはサブスクリプションとして 機能します。

1.1.3 サブスクリプション

サブスクリプションは SQL Server のレプリケーションの同期先となるデータベース オブジェクトです。

レプリケートされるデータベースでのデータの変更はどの環境からも開始することができるので、パブリケーション データベース はサブスクリプション データベースとして機能します。

後述のセクションで記載されている方法を用いて、パブリケーション データベースからサブスクライバー データベースを作成す ることができます。

データベース バックアップを使用してサブスクリプションを初期化する

データベース バックアップを使用してサブスクライバーを初期化する手順:

- 1. パブリケーション データベースへの「書き込み」アクセスを無効にします。
- 2. パブリケーション データベースをアーカイブします。
- 3. レプリケートするデータベースを1つ、または複数のサブスクライバーとして復元します。
- 4. SQL Server のレプリケーションをこの文書で後述する方法に基づいて構成します。
- 5. パブリケーション データベースとサブスクライバー データベースへの「書き込み」アクセスを有効にします。



ネットワーク共有を用いて、スナップショットを使用してサブスクリプションを初期化する

スナップショットでサブスクライバーを初期化するには、この文書で説明されている手順に従って、SQL Server レプリ ケーションを設定するときに、次の手順を実行します。

- 1. パブリケーション サーバーの EventQueue テーブルが空になっていることを確認します。確認するには、SQL コ マンド delete from EventQueue を実行します。このコマンドを実行しないと、サブスクライバー テーブル の初期化タイムスタンプの列に問題が発生する可能性があります。
- パブリケーションの新規作成ウィザードの [スナップショット エージェント] ウィンドウで [スナップショットをすぐに 作成し、サブスクリプションを初期化できるようにそのスナップショットを保持する] チェック ボックスをオンにしま す。

パブリケーションの新規作成ウィザードに関する詳細は、「パブリケーションの構成」のセクションを参照してください。

メモ

サブスクライバーは1度だけ初期化を行うため、スナップショットエージェントをスケジュール化する必要はありません。

SQL Server Integration Services を使用してサブスクリプションを初期化する

SQL Server Integration Services (SSIS) を使用してパブリケーション データベースをコピーすることで、サブスクライバー を初期化することができます。¹

1.1.4 Sitecore CMS がサポートするレプリケーション モード

Sitecore CMS は、Sitecore コンテンツ データベースのマージ レプリケーション モードをサポートしています。

Sitecore は、トランザクション レプリケーションとスナップショット レプリケーションをサポートしていません。これは、競合の解決、 データベース スキーマの要件、およびこれらのモードに関連する同期の間隔について技術的制限があるためです。Sitecore では、トランザクション レプリケーション モードとスナップショット レプリケーション モードのテストを実施していません。これらの モードを使用すると、データおよびキャッシュの整合性について予期しない動作が発生する可能性があります。

アナリティクス データベースのレプリケーションを一切サポートしていません。

¹ SQL Server Integration Services を使用してデータベースをコピーする方法については、 <u>http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ms188664.aspx</u>を参照してください。

Sitecore® は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。 Copyright © 2001-2012 Sitecore. All rights reserved.



1.2 SQL Server のレプリケーション構成

SQL Server のレプリケーションを構成する際にはこのセクションの情報を考慮してください。

SQL Server を構成して SQL Server リプリケーションに参加するためには、SQL Server Agent Windows サービスが 自動的に開始することを確認する必要があります。

1.2.1 ディストリビューターの構成

パブリッシャーをディストリビューターとして構成する注意点:

- 1. SQL Server Agent Windows サービスが自動的に開始することを確認します。
- 2. SQL Server Management Studio で、データベースのツリーを展開します。[レプリケーション] を右クリックし、 [ディストリビューションの構成] をクリックします。



Sitecore® は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。 Copyright © 2001-2012 Sitecore. All rights reserved.



3. [ディストリビューションの構成ウィザード]が表示されます。[次へ]をクリックします。



4. [ディストリビューター] ウィンドウで、["(コンピューター名)"を独自のディストリビューターとする] を選択して、[次へ] をクリックします。



5. [**スナップショット フォルダー**] ウィンドウの [**スナップショット フォルダー**] フィールドに、スナップショットを保存するフォ ルダーの Path を入力します。

サブスクリプションを初期化するためにスナップショットが容易に利用できるように、ネットワーク共有の Path を入力 します。サブスクリプションの初期化に関する詳細は、前述の「サブスクリプション」のセクションを参照してください。

Sitecore® は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。 Copyright © 2001-2012 Sitecore. All rights reserved.



6. [次へ]をクリックします。



- 7. [**ディストリビューション データベース**] ウィンドウの [**ディストリビューション データベース名**] フィールドにディストリ ビューション データベースの名前を入力します。
- [ディストリビューション データベース ファイルのフォルダー] フィールドと [ディストリビューション データベース ログ ファイルのフォルダー] フィールドに適切な値を入力して、[次へ] をクリックします。

| ドブリッシャー サーバーがパブリッシャーになったときに、 できるようにします。 | サーバーがこのディストリビューターを使用 | |
|--|------------------------------------|-------|
| パブリッシャー(P): パブリッシャー WIN-390C39B6264 | ディストリビューション データベース distribution | |
| | | |
| | | |
| | 追加 | (A) • |
| ヘルプ(H) < 戻る(B) | 次へ(N) 〉 完了(F) >> | キャンセル |



9. [パブリッシャー] ウィンドウで、データベース サーバーを選択して、[次へ] をクリックします。



10. [ウィザードのアクション] ウィンドウで、[ディストリビューションを構成する] チェック ボックスをオンにして、[次へ] を クリックします。



11. [ウィザードの完了] ウィンドウで選択したオプションを確認して、[完了] をクリックします。

1.2.2 パブリケーションの構成

新規のパブリケーションを作成する手順:

1. SQL Server Agent Windows サービスが自動的に開始することを確認します。



2. SQL Server Management Studio を開きます。



- 3. SQL Server Management Studio の [オブジェクト エクスプローラー] でデータベース ツリーを展開して、[レプ リケーション] を展開します。[ローカル パブリケーション] を右クリックして、[新しいパブリケーション] をクリックします。
- 4. [パブリケーションの新規作成ウィザード] で [次へ] をクリックします。

| パブリケーション データベース パブリッシュするテータまたはオブジェクトを含むデータベースを選択します。 | |
|---|-------|
| データベース(D): SOLRepMaster | - |
| | I |
| | I |
| | |
| | |
| ヘルプ(H) < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(F) >> キャンセル | ·] _ |

Sitecore® は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。 Copyright © 2001-2012 Sitecore. All rights reserved.



5. [パブリケーションデータベース] ウィンドウでパブリケーションデータベースを選択して、[次へ] をクリックします。



6. [パブリケーションの種類] ウィンドウで [マージ パブリケーション] を選択して、[次へ] をクリックします。





7. [**サブスクライバーの種類**] ウィンドウで、Sitecore のインスタンスで使用されているすべての SQL Server のバージョンを選択して、[**次へ**] をクリックします。

| ☆ パブリケーションの新規作成ウィザード | |
|---|---|
| アーティクル アーティクルとしてパブリッシュするテーブルおよびそん す。テーブルにフィルターを適用するための列を選択 | D他のオブジェクトを選択しま Rします。 |
| パブリッシュするオブジェクト(0): | |
| □- □ □ □- □ □ | アーティクルのプロパティ(A) 🔻 |
| | |
| | ー 9199 A09X100 2007 - 919700 み一覧に表示する(S) |
| | |
| | |
| | |
| | |
| ヘルプ(H) く 戻る(B) 次小 | (N)> 完了(F)>> キャンセル |
| _ | |

8. [アーティクル] ウィンドウで、すべてのテーブルを選択して、[次へ] をクリックします。

| 🚰 パブリケーションの新規作成ウィザード | _ 🗆 🗙 |
|---|----------------------|
| テーブル行のフィルター選択 パブリッシュされたテーブルから不要な行を除外するためにフィルターを〕 | き加します。 |
| フィルター選択されたテーブル(T): | |
| パブリケーション内のデータをフィルター選択する必要がなければ、D次 へ」をクリックします。 | 追加(A) |
| パブリケーションのフィルター選択を開始する(こは、「自加」をクリックし | 編集(E) |
| at a state of the | 前IF余(D) |
| | |
| フィルター(R): | |
| ヘルプ(H) <戻る(B) 次へ(N) > 完了(F) |)>> <u>++>セル</u> |

ビューをレプリケートする必要はありません。



9. [テーブル行のフィルター選択] ウィンドウで [次へ] をクリックします。



10. [スナップショット エージェント] ウィンドウで、[スナップショットをすぐに作成し、サブスクリプションを初期化できる ようにそのスナップショットを保持する] チェック ボックスをオンにして、[次へ] をクリックします。

スナップショットを使用したサブスクリプションの初期化に関する詳細は、「ネットワーク共有を用いて、スナップショットを使用してサブスクリプションを初期化する」のセクションを参照してください。

| パフリケーションの新規作成ウィザード 「 ジェント セキュリティ 音エージェントに対して、エージェントが実行されるアカウントと接続設定を指定し ます。 | |
|--|---------|
| スナップショット エージェント(S): SOL Server エージェント アカウント セキュリティ設定 | (E) |
| | |
| | |
| | |
| | F#>2211 |
| | |



11. [エージェント セキュリティ] ウィンドウで、セキュリティを構成する必要がある場合には [セキュリティ設定] をクリック し、必要に応じて構成します。[次へ] をクリックします。



12. [ウィザードのアクション] ウィンドウで、[パブリケーションを構成する] チェック ボックスをオンにして、[次へ] をクリックします。

| 17 | リ ケーション名(P): |
|------------|--|
| <u>۲</u> (| Dアクションを実行する(こは、「完了] をクリックします(C): |
| • | パブリケーションを作成します。 |
| • | スナップショット エージェント クロセスは 'SOL Server エージェント サービス' アカウントで実行さ れます。 パブリケーションの互換性レベルにより、SOL Server 2008 以降を実行しているサーバーであ るサブスカライバーがサポートされます。 以下のテーブルをアーティクルとしてパブリッシュ・ ・ Table,1 このパブリケーションが作転された直接に、パブリケーションのスナップショットを作成します。 |
| | |

13. [ウィザードの完了] のステップで、[パブリケーション名] にパブリケーションの名前を入力して [完了] をクリックしま す。

メモ

[パブリケーション名]には任意の値を入力します。

14. レプリケーションが稼動していることを確認するため、他のテーブルに続いて EventQueue テーブルをレプリケート するパブリケーションを構成する必要があります。

Sitecore® は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。 Copyright © 2001-2012 Sitecore. All rights reserved.



EventQueue テーブルをレプリケートするためには、パブリケーション データベースで次の SQL スクリプトを実行します:

```
EXEC sp_changemergearticle
    @publication = 'msavPublication',
    @article = 'EventQueue',
    @property='processing order',
    @value=100;
GO
```

1.2.3 サブスクリプションの構成

サブスクリプションを構成する手順:

- 1. SQL Server Agent Windows サービスが自動的に開始することを確認します。
- 2. SQL Server Management Studio でデータベース ツリーを展開して [レプリケーション] を展開します。[ローカ ル サブスクリプション] を右クリックして [新しいサブスクリプション] をクリックします。

| アイル(F) 編集(E) 表示(V) プロジェクト(F) デバッグ(D) ツール(T) ウィンドグ(W) 正ユニティ(C) ヘルプ(H) 新化シロブ(N) ① ① ② ③ ③ ② ③ ③ ④ ④ ③ ジジゴントロクジロークラー ● ③ (Coal) (SOL Server 105.0.1600 - WIN-380C3988/2644Administrator) ● ③ (Foca) (SOL Server 105.0.1600 - WIN-380C3988/00 - WIN-380C3988/2644Administrator) ● ③ (Foca) (SOL Server 105.0.1600 - WIN-380C3988/2644Administrator) ● ③ (Foca) (SOL Server 105.0.1600 - WIN-380C3988/2644Administrator) ● ④ (Foca) (SOL Server 105.0.1600 - WIN-380C3988/2644 - WIN-380C3988/2644Administrator) ● ④ (Foca) (SOL Server 10 |
|---|
| 2 新しいウエゾハ0 3 アメカト・エススクローラー 3 (local) (Sol. Server 10:50.1000 - W/N-390C398082644Administrator) 田 でもないろ。 日 でもかくス 田 でもない方 日 でもかいス 田 でもない方 日 ローカル パブリッション 日 日 ローカル パブリッション 日 日 ローカル パブリッション 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 |
| ジジェントエンステローラー ジレスコーシー ・ * * × |
| 8.8 ジ シ ・ マ ・ ○ 6. (co.d) (Su. Cever vision (Su. 100 + VIN-390C39862644Administrator) 0 ブ - ジ - ベース 0 リ - リ - パ - ブ ジ 2 ジ + 0 リ - リ - パ - ブ ジ 2 ジ + 0 リ - リ - リ - パ - ジ - ジ - ジ + 0 リ - リ - パ - ジ - ジ - ジ + 1 ジ - ジ - ジ - ジ - ジ - ジ - ジ - ジ - ジ |
| ○ (Local) (SOL Server 105.1600 - WIN-380C39802844Administrator) ○ + Son - Son - |
| |



3. [サブスクリプションの新規作成ウィザード] が表示されます。[次へ] をクリックします。



- 4. [パブリケーション] ウィンドウの [パブリッシャー] フィールドで対象となるパブリッシャーを選択します。
- 5. [データベースとパブリケーション] フィールドで対象となるパブリケーションを選択して、[次へ] をクリックします。

| サブスクリプションの | 新規作成ウィザード | |
|---------------------------------------|--|-------------------------|
| ディストリビューショ | ヨン エージェントの場所 フェージェントを実行する場所を選択します。 | |
| , , , , , , , , , , , , , , , , , , , | 1 9191 (1997) - Million (1997) | |
| このウィザードで作成す | するサブスクリプション: | |
| ○ ディストリビュー フカロナションバ | ター WIN-390C39B6264 ですべてのエージェントを | を実行する (ブッシュ サブ |
| このオプション | ・。 を選択すると、サブスクリプションの同期を容易に集 | 中管理できます。 |
| | ニア・タエー・ジョン・トカ宇 行する (ゴル・サゴスカルゴン)・ | ->.)/(E) |
| • 97X9947 | -CGT-ATAKEH199(AM-AAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA | 1.//E) |
| このオプション・ スクライバーが | を選択すると、ディストリビューターでの処理オーバ・ 「サブスクリプションの同期を管理できます。 | -ヘッドが低減し、各サブ |
| ポッフレロジョニカニシサ | ヴュカニノバー でこわ ごわかまたのテーパーン しち中公 | ままね合け ウィザード |
| を複数回実行してくだ | シスシンパントしてれてれば最近のエーシェントを美し さい。 | 19.00/00 - 14 - 14 - 14 |
| | | |
| | | |
| | | |
| (H) | < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(| E) >> キャンセル |
| | | |



 [ディストリビューション エージェントの場所] ウィンドウで、ディストリビューターの負荷を低減するために、[サブスク ライバーで各エージェントを実行する(プル サブスクリプション)]を選択します。[次へ] をクリックします。

| 「フムフライパー 13以上のサオカライバーを選択し、それぞれにサブスクリブション データベースを ばえします。 「スカライバー データベースとサブスクリブション データベース(S): サブスクライバー ▲ サブスクリブション データベース サブスクライバー ▲ サブスクリブション データベース マ WTN-390C3956264 Stessee Test マ SOL Server サブスクライバーの追加(A)_ ヘルプ(H) 〈 戻る(B) 法へ(N) 〉 完了(P)>/ キャンセル ス | サブスクリプションの新規作 | 成ウィザード | _ 🗆 × |
|---|---|--------------------------|----------------------|
| プスクライバーデータベースとサプスクリプション データベース(S): サプスクライバー ▲ サプスクリプション データベース ▼ WTN-890C39B5264 SitescreTGest ▼ SQL Server サプスクライバーの追加(A)_ ヘルプ(H) 〈戻る(B) 法へ(N)〉 売了(月)>> キャンセル 2 | ナ ブスクライパー 1つ以上のサブスクライバー 指定します。 | を選択し、それぞれにサブスクリプション | / データベースを |
| サガスクライバー ▲ サガスクリプション データベース ▼ WIN-380C38B6264 Sitescre.Test ▼ SOL Server サガスクライバーの)追加(A)_ ヘルプ(H) 〈戻る(B) 汰へ(N)〉 完了(F)>>/ キャンセル ∠ | サブスクライバー データベースと | :サブスクリプション データベース(S): | |
| ▼ WTN-390C3956264 Stresser Test ▼ SQL Server サブスクライバーの追加(A)_ ヘルプ(H) く戻る(B) 次へ(N) > 完了(F)>>/ キャンセル | サブスクライバー 🔺 | サブスクリプション | データベース |
| | WIN-390C39B6264 | Sitecore.Test | |
| SQL Server サブスクライバーの)自加(A) ヘルプ(H) 〈夏る(B) 法へ(N) 元了(日)>/」 キャンセル ノ | | | |
| SQL Server サブスクライバーの)皆加(A)_ ヘルプ(H) 〈戻る(B) 法へ(N) ディア(F)>別 キャンセル ィ | | | |
| | | | |
| | | | |
| SQL Server サブスクライバーの注動(A) ヘルプ(H) 〈夏る(B) 法へ(N) 元7(F)>> キャンセル ィ | | | |
| _SQL Server サブスクライバーの注意加(A) ヘルプ(H) 〈戻る(B) 法へ(N) 完了(F)>>」 キャンセル _ ィ | | | |
| SQL Server サブスクライバーの)自加(A) ヘルプ(H)< 戻る(B)次へ(N) >売了(F) >>」 キャンセル | | | |
| SQL Server サブスクライバーの追加(A) ヘルブ(H) く夏る(B) 次へ(N)> 売了(F)>> キャンセル ノ | | | |
| SQL Server サブスクライバーの注意加(A) ヘルプ(H) 〈戻る(B) 法へ(N) 元了(F)>>> キャンセル | | | |
| | | | |
| | | | |
| ヘルプ(H) 〈戻る(B) 法へ(N) 売了(F)>> キャンセル / | | SQL Server + | ナブスクライバーの追加(A) |
| ヘルナ(H) < 戻る(B) 次へ(N) > 売了(F)>>> キャンセル | | | |
| | | | |
| | ヘルプ(H) | < 戻る(B) 次へ(N) > 完 | 7(F)>> キャンセル |
| | ヘルプ(H) | < 戻る(B) 次へ(N) > 完 | 7(F)>> キャンセル |

7. [サブスクライバー] ウィンドウで、サブスクライバーとサブスクリプション データベースを追加します。

| • •••• |
|--------|
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| 要があ |
| 要があ |
| |



8. [ディストリビューション エージェントのセキュリティ] ウィンドウで、各サブスクライバーに適切なアカウントを選択します。[次へ] をクリックします。

| 司期スケジュール 各エージェントの同期 | 収ケジュールを指定しま | इ. | | T |
|------------------------|---------------|------------|-----------|----------------|
| エージェントフケジュール | (A)· | | | |
| サブスクライバー 🔺 | エージェントの場所 | エージェント スケ | ジュール | |
| WIN-390C39B6264 | サブスクライバー | 連続実行する | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| A 11-27(4) | (百2(0) [[| Υτο (M) \ | * 7(F) \\ | 42.50° .47 II. |
| へルプ(日) | _ < 戻る(B) _ [|)汝へ(N) >! | 売了(F) >> | キャンセル |

9. [同期スケジュール] ウィンドウの [エージェント スケジュール] フィールドで [連続実行する] を選択します。[次へ] をクリックします。

| サブスクリプションの新 サブスクリプションの新 パブリケーションのデー を初期化するかどうか | 規作成ウィザード 初期化 -タとスキーマのスナップショットを使用して各サブ やを指定します。 | |
|---|---|------------------------|
| サブスクリプションのプロパ サブスクライバー 🔺 | (ティ(S): 初期化 次の場合に初期化 | |
| WIN-390C39B6264 | ▼ 今すぐ | |
| | | |
| | | |
| | | |
| サブスクリブション データ・ ーション データとスキーマ | ヾースは、サブスクリブション用に特別な準備がる のスナップショットを使用してネガ期化する必要カ | ちれていない限り、パブリケ あります。 |
| | | |
| | (| |
| ヘルプ(H) | < 戻る(B) 次へ(N) > 完了 | (F)>> キャンセル |



10. [サブスクリプションの初期化] ウィンドウの [サブスクリプションのプロパティ] フィールドの、[次の場合に初期化] の列で [今すぐ] を選択します。[次へ] をクリックします



11. [サブスクリプションの種類] ウィンドウの [サブスクリプションのプロパティ] フィールドの、[サブルーチンの種類] の 列で [クライアント] を選択します。[次へ] をクリックします。

| ウイザードのアクション [完了]をクリックしたときの動作を選択します。 | 2 |
|---|-----|
| | 5 |
| ウィザード終了時の処理 | |
| ▼ サブスクリプションを作成する(C) | |
| □ サブスクリブションを作成するためのステップを含むスクリプト ファイルを生成する (G) | I |
| ヘルブ(H)く 真る(B)次へ(N) > 売了(F) >> キャンセ) | Þ " |



12. [ウィザードのアクション] ウィンドウで、[サブスクリプションを作成する] チェック ボックスをオンにして、[次へ] をク リックします。



13. [ウィザードの完了] ウィンドウで選択したオプションを確認して、[完了] をクリックします。

1.2.4 ポーリング間隔

デフォルトでは、SQL Server のマージ レプリケーションは同期するデータを 60 秒間隔でポーリングします。環境によっては この値が適切ではない場合があります。

注意

ポーリング間隔を減らすことはサーバー負荷の増大につながる場合があります。

ポーリング間隔を構成する手順:

- SQL Server Management Studio で [SQL Server エージェント] を展開して、[ジョブ] フォルダーを展開 します。[マージ エージェント] のジョブを右クリックして、[プロパティ] を選択します。[ジョブのプロパティ] ダイアログ が表示されます。
- 2. [ジョブのプロパティ] ダイアログの [ステップ] タブをクリックします。[Run Agent] のステップを選択して、[編集] を クリックします。[ジョブ ステップのプロパティ] ダイアログ ボックスが表示されます。
- [ジョブ ステップのプロパティ] ダイアログ ボックスの [コマンド] フィールドで、 -PollingInterval <seconds> を追加します。<seconds> はポーリング間隔の秒数です。
 たとえば、毎秒ごとにデータの変更をポーリングするには、--PollingInterval 1と入力します。



1.2.5 レプリケーション エージェント プロファイル

パフォーマンスを改善するために、マージ レプリケーション エージェントに "ハイボリュームのサーバー対サーバーのレプリケーション" の SQL Server レプリケーション エージェント プロファイルを構成することができます。²

² SQL Server レプリケーション エージェント プロファイルの詳細については、<u>http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/ms151223.aspx</u> を参照してください。

Sitecore® は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。 Copyright © 2001-2012 Sitecore. All rights reserved.



1.3 SQL Server レプリケーションのトラブルシューティング

このセクションでは SQL Server のレプリケーションにおける問題のトラブルシューティングのための方法を説明します。

1.3.1 sp_replcmd を実行できない

ログリーダー エージェントが次のようなエラーを出して起動に失敗することがあります:

Cannot execute sp_replcmd

この場合は、問題のデータベースのパブリッシャーで次のクエリを実行します:

exec sp_changedbowner 'sa'

1.3.2 レプリケーションの ID 範囲がフル

SQL Server が次のような例外を出すことがあります:

The identity range managed by replication is full and must be updated

この場合は、自動的にインクリメントされる ID が衝突しないように、ID 列に別の範囲を使うようにパブリケーションとサブスクライバーを構成します。

この例外が発生する可能性がある列は WorkflowHistory と PublishQueue です。Sitecore バージョン 6.3.0 および 6.4.0 では、EventQueue 列もこの例外が発生する可能性があります。Sitecore バージョン 6.3.1 および 6.4.1 以降の 場合、この例外が EventQueue で発生することはありません。

IDの範囲を構成する手順:

- Microsoft SQL Server Management Studio で [レプリケーション] を展開して [ローカル パブリケーション ン] を展開します。パブリケーションを右クリックして [プロパティ] をクリックします。[パブリケーションのプロパティ] ダ イアログ ボックスが表示されます。
- 2. パブリケーションのプロパティ ダイアログ ボックスで [アーティクル] をクリックします。
- 3. [パブリケーションのプロパティ] ダイアログ ボックスで問題のあるテーブルを右クリックし、[このテーブル アーティク ルのプロパティを設定] をクリックします。[アーティクルのプロパティ] ダイアログ ボックスが表示されます。
- [アーティクルのプロパティ] ダイアログ ボックスで、[ID 範囲の管理] の項目で、[パブリッシャーの範囲サイズ] と [サブスクライバーの範囲サイズ] に代替の値を入力します。



1.3.3 マージ プロセスでサブスクライバーにスナップショットを配信できなかったことを示 すエラー

EventQueue テーブルが空でない場合、データベースのレプリケーションを設定すると、次の SQL エラーが表示されること があります。

The merge process was unable to deliver the snapshot to the Subscriber. If using Web synchronization, the merge process may have been unable to create or write to the message file. When troubleshooting, restart the synchronization with verbose history logging and specify an output file to which to write. The process could not bulk copy into table '"dbo"."EventQueue"'. Could not bulk load. The sorted column 'Stamp' is not valid. The ORDER hint is ignored.

原因は、SQL サーバーがスナップショットからサブスクライバー データベースを初期化できない点にあります。このデータベース には、"タイムスタンプ"型の列 (EventQueue テーブルの列)の値が格納されています。

この場合、次の手順を実行します (レプリケーションを DB1 と DB2 に設定し、パブリケーションを DB1 に設定し、サブスク リプションを DB2 に設定したとします)。

- 1. DB2 データベースのサブスクリプションを削除します (SQL Management Studio の [ローカル サブスクリプション] ノード)。
- 2. DB1 データベースのパブリケーションを削除します (SQL Management Studio の [ローカル パブリケーション] ノード)。
- 3. DB1 データベースの EventQueue テーブルの行をすべて削除します (TRUNCATE TABLE EventQueue SQL コマンドを実行します)。
- 4. DB1 への書き込みアクセス権を無効にするか、新しいパブリケーションの設定が完了するまで、何も変更を加えず、 EventQueue テーブルに行を追加しないようにします。
- 5. DB1 データベースのパブリケーションを作成します (EventQueue テーブルが空の間にスナップショットが作成されます)。
- 6. 空のデータベース (たとえば、NewDB2) を作成し、DB2 データベースに代わるサブスクリプション データベースとし て使用します (DB2 データベースは不要になります)。
- 7. NewDB2 データベースのサブスクリプションを設定します (NewDB2 データベースがスナップショットから初期化されます)。